

アイ・シーたんなんだより 公立丹南病院



病院というところ



秋空に映える公立丹南病院



公立丹南病院 病院長
布施田 哲也

できることなら利用したくないところ、行かなくて済むのなら行きたくない場所、それは病院です。白い壁、高い天井、足早に歩き回る職員、なんとなく聞きにくそうな雰囲気からこのような印象を持たれることが多いと思います。

ヨーロッパの病院の歴史をたどれば中世に起源をもつことが多く、生活に困っている人や病気になった人のお世話するところとして、主として教会の横につくられました。医学も進歩していない初期の病院では、どちらかというと食事と生活の世話に重点が置かれ、こうした病院には庭園とビールやワインの工場が併設されているのが常でした。ビールやワインを売ってお金を稼ぎ、それを生活に困っている人や病気の人の世話にあてていて、生活の中で病を癒す雰囲気があった当時の病院にはありました。

しかし、近代に入りヨーロッパでは、病院に付き物だった教会・

庭園・酒場というものを切り落とし医療機能だけを目的としての病院ができました。そのころ蘭学なるものが日本に正式に入るようになります。19世紀後半に西洋医学を取り入れて日本で最初の西洋式病院である長崎療養所は、オランダのユトレヒト陸軍病院をモデルとして作られています。ちよつと近寄りがたい雰囲気はその影響があるからかもしれません。病気を治すためには、技術はもちろん必要ですが心あたたまる癒しの環境も大切です。

当院の理念は「地域住民に愛され、信頼される、安らぎのある病院。いつでも、だれにでも、どんなことにも対応する病院」と定めています。なかなか道半ばで、医療者の動線を考慮したつくりになっている部分が多いと思います。地域の利用者からのご意見は、ずっと内部にいると気づきにくい意見が多くいつもありがたく感じております。病院に対する意見と真剣に向き合うことがよい病院づくりにつながるものと考えており、皆様からの感想・要望・叱責などをお待ちしております。

新任医師のご紹介

2017年6月より着任されました新任医師をご紹介します。



外科

外科部長

出口 正秋

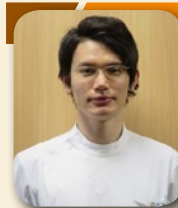
医師



内科・総合診療科

神川 洋平

医師



整形外科

木村 光宏

医師



外科・消化器外科

澤井 利次

医師



内科

大濱 弘光

医師



整形外科

本定 和也

医師

皮膚・排泄ケア認定看護師について

山崎 彰子

はじめまして、皮膚・排泄ケア認定看護師の山崎です。私は平成28年7月に皮膚・排泄ケア認定看護師の資格を取得しました。看護師2年目より褥瘡対策委員になり、患者さんの褥瘡が治っていく過程、また褥瘡発生予防のケアを行う中で、知識を深めて褥瘡ケア、褥瘡予防が必要な患者さんやご家族のサポートをしていきたいという思いが強くなり、皮膚・排泄ケア認定看護師を志しました。

皮膚・排泄ケアは主に褥瘡などの創傷ケア、人工肛門などのストーマケア、失禁による皮膚トラブルのケアを行っています。また、皮膚の状態に合わせたスキンケアの提案、実践をしています。皮膚は年齢や疾患などが影響して健康な皮膚を維持することが困難となる場合も多くみられます。また、夏は日焼けやあせも、冬は乾燥肌や手荒れ、などといった

季節特有の皮膚トラブルが起こります。患者さんの皮膚の状態に合わせたスキンケアを行い、皮膚のトラブルや傷ができないようにアドバイスを行っています。

現在、3階病棟に勤務しています。院内での主な活動は、褥瘡ケアが必



個性に合わせたストーマー装具を選びます



褥瘡回診で意見交換をしています

要となる患者さんの褥瘡回診です。医師、看護師、管理栄養士、リハビリテーションスタッフと意見交換を行い、患者さんの個性をふまえて考えた褥瘡ケアの実践やスタッフへのアドバイスを行っています。また、当院の訪問看護を利用されている患者さんの褥瘡ケア、ストーマケア、スキンケアの相談に対応しています。

創傷ケア、ストーマケアが療養生活で必要となることは、患者さんやご家族の身体的な負担や生活への不安となります。患者さんやご家族がその人らしく過ごすことができるように、今ある生活の中での“できること”を取り入れた望まれるケアと一緒に考えていきます。そして、継続的に実践することができるよう寄り添った看護に努めていきたいと思っています。

今後ともよろしくお願い致します。

入院支援担当看護師が活動しています

『入院』と聞いただけで患者さんご本人はもちろん、ご家族の方も不安や心配でいっぱいになると思います。そんな不安や心配を少しでも軽くし、安心・安全に入院生活を送っていただけるよう「入院支援担当看護師」が対応を始めました。また、ご相談やご質問もお受けしていますので、どうぞお気軽にお尋ねください。

患者さんからよい評価をいただいています

- * 入院の説明はわかりやすかった
- * 説明の時間はちょうどよい
- * 説明する声の大きさや速さもちょうどよい
- * 聞きたいことを聞くことができた



「入院支援担当看護師」ってなにをする人？



Q：どこにいるの？

A：1階 地域医療連携室にいます

Q：何をやるの？

A：入院にあたって、わからないことや不安なことなどの相談にのり、患者さんのサポートをいたします

Q：いつでも対応するの？

A：平日 午前8時30分～午後5時です（不在時は、外来看護師が対応いたします）

Q：時間はどのくらいかかるの？

A：患者さんに合わせて、ゆっくり説明させていただきます（おおよそ30分程度です）

Q：どんなことを聞かれるの？

A：患者さんのお家での暮らし方や病気をどのように考えていらっしゃるかなど、治療に必要なお話を聞かせていただきます

Q：話の内容は守られるの？

A：各診療科や病棟、地域連携室など他部署と連携を行います。関係者以外に口外することはありませんので、ご安心ください



- ◆ 入院が決まりましたら、地域連携室または各科外来でご案内いたします
- ◆ 入院に必要な書類、生活用品などについて説明いたします
- ◆ 入院に関して困った事や心配事 ご要望なども可能な限り支援させていただきます



公立 丹南病院

〒916-8515 福井県鯖江市三六町1丁目2-31

公立 丹南病院

TEL:0778-51-2260 FAX:0778-52-8620
ホームページ: <http://www.jadecom.or.jp/jadecomhp/tannan/html/>
メールアドレス: tannan-info@jadecom.or.jp

公立丹南病院 在宅事業部

居宅介護支援事業所

〒916-8515 福井県鯖江市三六町1丁目2-31
TEL:0778-52-2050 FAX:0778-52-2151
メールアドレス: tannan-zaitaku@jadecom.or.jp

訪問看護ステーション

通所リハビリテーションセンター なごみの里

〒916-8515 福井県鯖江市三六町1丁目2-31
TEL:0778-51-5234 FAX:0778-51-8242
メールアドレス: tannan-nagomi@jadecom.or.jp

通所介護 よつばの里

〒916-8515 福井県鯖江市三六町1丁目2-31
TEL:0778-51-5411 FAX:0778-51-8242
メールアドレス: tannan-yotuba@jadecom.or.jp

